

## 診療科(講座)紹介

- 1) 臨床研修：周産期・婦人科腫瘍・内分泌（不妊症）すべてにバランスが取れた臨床医を育てる。
- 2) 研究：臨床医ならではのアイデアで世界レベルの研究を目指す。
- 3) 留学：学位取得後は、原則的には皆に留学のチャンスを与える。

## 指導医(スタッフ)紹介



部長(准教授)  
山田 秀和

昭和53年 福島県立原町高等学校卒業  
昭和61年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 婦人科腫瘍学  
研究分野  
1) 婦人科腫瘍学



准教授 藤森 敬也

昭和57年 宮城県立角田高等学校卒業  
昭和63年 福島県立医科大学卒業  
平成4年 福島県立医大大学院卒業  
臨床専門分野  
1) 周産期医学  
2) 胎児診断・治療  
3) 超音波診断学  
研究分野  
1) 胎児生理学(胎児behavior)



助教 添田 周

平成2年 東京都立国立高等学校卒業  
平成9年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 婦人科腫瘍学  
2) 婦人科血管撮影  
研究分野  
1) 婦人科腫瘍学



部長(講師)  
小宮ひろみ

昭和55年 福島県立安積女子高等学校卒業  
昭和61年 山形大学医学部卒業  
臨床専門分野  
1) 生殖内分泌  
2) 不妊  
3) 性差医療  
研究分野  
1) 生殖内分泌



助教 菅沼 亮太

平成3年 常総学院高等学校卒業  
平成9年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 生殖内分泌  
2) 不妊  
研究分野  
1) 生殖内分泌  
2) 不妊



助教 西山 浩

平成元年 福島県立磐城高等学校卒業  
平成7年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 婦人科腫瘍学  
研究分野  
1) 婦人科腫瘍学



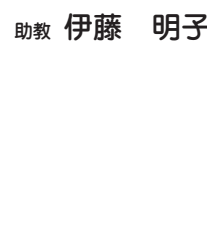
助教 浅野 仁覚

平成2年 私立東海高等学校卒業  
平成10年 福島県立医科大学卒業  
平成14年 福島県立医科大学大学院修了  
臨床専門分野  
1) 周産期医学  
研究分野  
1) 周産期医学



助教 高橋 秀憲

平成元年 福島県立原町高等学校卒業  
平成8年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 産婦人科内視鏡手術(子宮筋腫・卵巣腫瘍その他)  
2) 周産期医学  
研究分野  
1) 産科母体生理学(胎児プログラミング・早産予防)



助教 伊藤 明子

平成7年 千葉県立東葛飾高等学校卒業  
平成13年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 生殖内分泌  
研究分野  
1) 生殖内分泌



助教 渡辺 尚文

平成元年 福島県立福島高等学校卒業  
平成8年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 婦人科腫瘍学  
2) 遺伝カウンセリング  
研究分野  
1) 婦人科腫瘍学



助手 大関 健治

平成7年 福島県立磐城高等学校卒業  
平成13年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 婦人科腫瘍学  
研究分野  
1) 婦人科腫瘍学

## 助手 園田みゆき

平成7年 熊本県立熊本高等学校卒業  
平成14年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 周産期医学  
研究分野  
1) 周産期医学

## 助手 牛嶋 順子

平成8年 国立東京学芸大学  
附属高等学校卒業  
平成15年 福島県立医科大学卒業  
臨床専門分野  
1) 周産期医学  
研究分野  
1) 周産期医学

## 後期研修(専門医養成コース)プログラム

	修得すべき手技や手術経験目標数など
1年次 (卒業後3年)	産婦人科の基本診療(大学病院ならびに関連病院にて研修) 産科:帝王切開術執刀(10) 婦人科:腹式単純子宮全摘術執刀(5)
2年次	産婦人科の基本診療(関連病院にて研修)産科:帝王切開術執刀(20) 婦人科:腹式単純子宮全摘術執刀(10) 婦人科悪性腫瘍術の助手 学会発表(福島地方部会・東北連合地方部会・北日本連合地方部会)
3年次	大学病院研修 研究テーマ選択(腫瘍学、内分泌学、不妊症、胎児生理学、子宮筋生理学) 学会発表(産婦人科学会総会を目標) 産科:帝王切開術執刀(20) 婦人科:腹式単純子宮全摘術執刀(10) 悪性腫瘍術執刀(5)
4年次	大学病院研修 専門医取得を目標 研究テーマ別に研究・発表 積極的に海外学会にて発表

## 大学院・留学について

大学院入学を歓迎しています。研究内容として、腫瘍学、内分泌学、不妊症、胎児生理学、子宮筋生理学より選択していただいております。学位終了後、基本的には、皆に国内留学・海外留学のチャンスを与えております。

## 専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

- 専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標
1. 日本産科婦人科学会に3年以上(医師免許取得5年以上)会員であること
  2. 分娩100例(分娩症例は帝王切開術による分娩を含む)
  3. 手術症例(執刀・助手)50例(産科手術や小手術は除く)

4. 主治医として診断から治療まで管理した婦人科・産科症例10症例
5. 腫瘍・生殖・周産期各分野1症例ずつ計3症例について症例レポート報告
6. 主たる学会出席、学会発表および研究論文の記入  
3年間の研修で専門医受験資格が得られます。  
専門医試験は3年間終了後の翌年7月です。

## 後期研修協力病院

	関連病院名	所在地	指導医名	職名
1	会津中央病院	会津若松市	武市 和之	院長
2	大原総合病院	福島市	戸澤 秀夫	部長
3	国立福島病院	須賀川市	鈴木 りか	部長
4	済生会福島病院	福島市	佐藤 正典	部長
5	寿泉堂総合病院	郡山市	鈴木 博志	部長
6	竹田総合病院	会津若松市	金 彰午	部長
7	坪井病院	郡山市	坂本 且一	部長
8	社会保険二本松病院	二本松市	大和田真人	部長
9	南相馬市立病院	南相馬市	橋本志奈子	部長
10	福島赤十字病院	福島市	矢澤 浩之	部長
11	星総合病院	郡山市	吉田 孝雄	副院長

## 指導医からのメッセージ

日本産科婦人科学会専門医以外に、サブスペシャリティとして、婦人科腫瘍専門医、周産期専門医(母体・胎児部門)、婦人科内分泌専門医が取得可能です。さらに、日本臨床細胞診専門医、日本超音波医学会専門医・指導医、婦人科内視鏡専門医、臨床遺伝専門医が取得可能(当教室ではそれぞれの専門医がおります)です。

